

つとむ通信



地域力 UP！

1. 個々の知恵やアイデアを汲み上げて
2. 地域の特性を生かして
3. 心と心が響きあう安心の社会を

富津市議会議員 渡辺つとむ 後援会事務所 千葉県富津市千種新田375-5

TEL0439-65-0526 FAX0439-65-0683

e-mail tsutomu364@rondo.plala.or.jp

政策討議資料

No.27 令和3年5月 議会報告



長引く新型コロナウイルスの感染防止に日々ご協力いただいている市民の皆様には感謝を申し上げます。皆様の健康を心よりお祈り申し上げます。富津市議会議員 渡辺つとむです。

先日読んだ文献を引用させていただきます。

逆境にある時は常に「もう少しだ」と思って進むと良い。いずれの日か、前途に光明を望むことを疑わない。新渡戸稲造

新型コロナウイルス克服まで、もう少しです。頑張りましょう！

新年度予算について

令和3年度の予算が決まりました。

今回の予算はコロナ禍の影響で税収が減少する見込みであるため、一般会計で総額188億円となり昨年度予算より8億円減となりました。

歳入の内容をみると個人及び法人市民税収はコロナ禍による経済活動の縮小の影響で固定資産税も含めて約3億9千万円減少する見込み。一方で国からの地方税減を補填する地方税減収補填特別交付金(4,200万円)などが新しく財源となりました。

総合的に市の財政をまとめると、市民税や固定資産税などの市民からの税金は減少。また国や県が負担してくれる支出金も約5億円減額となります。その分をもともと市が保有している基金(貯金)から約1億8千万円繰り入れをすることにより全体の減少をちょうど8億円におさえて予算を組んだという形です。

つとむの視点

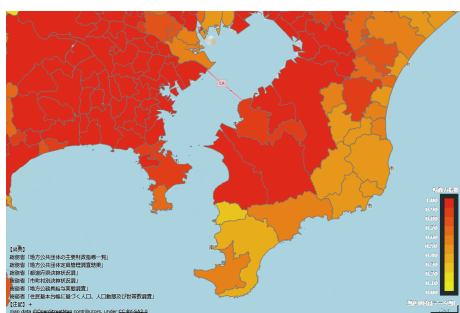
財政規律とは

今回の予算では市の本庁舎の老朽化に対応する改修工事がもろもろで1億8000万円ほど計上されています。施設やインフラはこまめにメンテナンスをしておくことで寿命が延びて長く使えるようになります。



その反面、度を越えて立派にするのは税金の使い道としては適切ではありません。今回の改修費用の大部分は市債(市が借金をすること)で賄うこととなっています。これは将来世代の皆さんにも応分の負担をしてもらうためという大義があります。しかし今の若い人たちのどの程度が富津市に残って税金を支払ってくれるようになるか？と

考えると非常に心細い気持ちになります。「応分の負担を将来世代にも」という人口増加が当たり前だったころの常識をそのまま引用するような財政運営は一考の余地があると私は思います。他のすべての投資的な経費についても同様で、コロナ禍で大きく社会の構造が変わりつつある時代に持つべき将来への羅針盤は正確に見定めなければならないと考えます。



↑ 富津市の財政力指数は 0, 92 (令和元年度)

☆ 詳細解説

近年の地方自治体の財政運営は、税収以外に交付金や助成金・市債など多様な歳入手段が一般的となっているので「借金を含めた歳入全体の規模と歳出の収支均衡を合わせる」ことが財政規律と考えられる傾向が強まっています。そこでは経費を発生したところで把握するか現金主義（フロー重視）の均衡を保とうとするのかで財政運営が大きく変わります。今ある手持ちのお金だけに気をとられていると、のちの負担が徐々に大きくなり財政運営が硬直化する恐れがあります。市議会はそのバランスをチェックすることも大きな役割だと思えます。住民のニーズを把握し、必要性や財政運営の要素（持続性）を加味して政策形成の手助けをすることが必要です。「あったらいいな」というレベルをいかに取捨選択して政策レベルに引き上げる

かは将来の富津市にとっては必要な課題なのだと感じています。

➤ 新規事業について

➤ 移住・定住促進事業

市外からの移住・定住者を増やすための事業を本格的に進めます。具体的には独立した部署を新たに設けて PR イベントをおこなったり、地域おこし協力隊の活動のサポートを進めます。Uターンによる起業・就業者の支援をして雇用の創出をはかるなどの取り組みを進めます。(2,900 万円)

木更津市 移住・定住相談窓口



↑ 木更津市の移住促進パンフレット



↑ 富津市の移住定住サイト

➤ タクシー利用料金助成費

交通手段の無いお年寄り対象のタクシー運賃助成を引き続きおこないます。この助成事業は近場の移動には便利ですが、市街地まで距離の長い地域では病院や買い物に使いづらいという多くの利用者の声をいただいています。今回一枚 500 円の利用券を 2 枚/人・回と使いやすいうようにあらためましたが、地域によって使い勝手の良い公共交通体系を構築するように引き続き議会でも検討を続けます。(約 2,000 万円)

★ 議長就任1年にあたり

✚ 皆様のご理解をいただき、私、渡辺はこの5月をもって議長就任一年となりました。この間新型コロナウイルスの影響で、様々な会議や行事が中止や書面会議などを余儀なくされ、市民の皆様にお目にかかる機会もこれまでの議長に比べると格段に少なかったと思います。しかしその間、議会の中での合意形成や新たな仕組みづくりなどに取り組んでまいりました。それについてご報告いたします。



★ 議会の映像配信（議会中継）とペーパーレス化（資料等の電子データ化）

前号でも触れましたが、令和3年5月現在、県内の市議会では本会議の映像配信を行っていないのは富津市を含めて2市しかありません。当市議会では「開かれた議会」を目指して様々な取り組みにチャレンジしてきました。例えば議会報告会や、議員が情報発信するための政務活動費の柔軟な運用などです。しかしそれもコロナ禍のもとでの制約などで思うように発出するのが困難になりつつあります。

そんな中で市議会もデジタル変革の必要性を訴えICT化と銘打って改革を進めてまいりました。まず第一弾として今年9月議会からは市議会本会議のインターネット配信をはじめることとなりました。担当委員会で様々な議論を経ていよいよ9月からはライブ配信とその後の議員ごとに一般質問の内容を検索できる画像

にして録画配信も可能となります。平日でなかなか議会の様子を見ることが出来なかった市民の皆さんに、ぜひご視聴いただきご意見をいただきたいと思います。

ペーパーレス化とは、議会で使う資料、例えば決算書や報告書、計画書や連絡事項などを紙の資料としてではなく電子データとして議員に配布し、また市職員もそのデータを利用することにより、今まで担当者が大量に印刷やコピーをしていた紙媒体を少なくしていこうというもの。これにより職員の業務の効率化や資料整理・保管を容易にすることが目的です。このペーパーレス化についてはもう少し内容を検討し他の自治体の事例なども参考にしながら進めてまいります。

★ 特別委員会の設置と委員数について

先の令和3年3月議会では、例年通り「予算審査特別委員会」を設置して今年度の予算審査を行うこととしましたが、その委員会の構成について一部の議員から「予算審査特別委員会は議員全員が参加して審査すべきだ。議員の半数の8人で審査するのは市民の意見を反映できないので認められない。」と個人的な広報誌で異論が出され私の元にも数名の市民から「これはけしからん。」とのお叱りをいただきました。

この件については事前に議会運営委員会で議論が行われ、その後の本会議でも議員全員から「異議なし」との手続きを踏まえて決定したこと。当然私個人が一方的に決めたことでは無く、そもそも「市の幹部職員や議員が密の状況で感染拡大してしまうと行政運営に大きな影響を及ぼすためそれを避けるにはどのようにすべきか？」を議会運営委員会で検討していただき決定したものの。その議員たちにも感染

予防の方法についてアイデアを出してください
とお願いをした上で決定したこと。少数意見を
封殺する意図など全く無いというのが議員の
おおかたの考え方だと私は理解していました。

議会は何をする場所か？私は『市の様々な
行政課題や市民からの意見を整理し、吟味し、
それに適切な判断・決断をして合意形成をす
る。さらにはそれを実行する。』これが議会の
役割の一つだと考えています。合意形成が
出来なければ民主主義の基本である多数決
で決定するしかありませんが、なんでもかんでも
多数決で市民の課題解決になるのか？それ
も踏まえての委員会と本会議での合意事項だ
と考えます。市民の皆さんにはぜひご理解を
いただきたいと思います。

先日読んだ本の引用をさせていただきます。

情報コーナー



新富津漁協が数年来取り組んできた経営改革の成果です。富津産ブランド牡蠣「江戸前オイスター」おいしいと評判です。ふるさと納税にも使えますので市外の知人にぜひ紹介してあげてください。



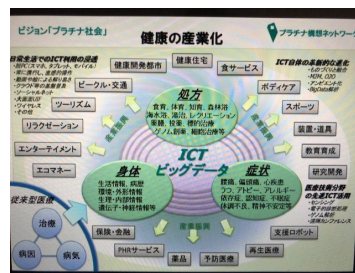
←3月のダイヤ改正で内房線が一部ワンマン運転となりました。市民の

足の確保は重要な課題です。他市との連携をしながら利便性の確保に努めなければなりません。



←岩瀬地区海岸橋の改修工事（掛替え）が始まっています。ご不便をおか

けますがしばらくの間ご容赦ください。インフラの更新は交付金をできるだけ活用して将来世代への負担を極力減らす工夫が必要です。



←新型コロナウィルスの影響で大人数が会場に集まる会議や研究会は

できませんがインターネットのZOOM等を利用した勉強会には精力的に参加をしています。写真は小宮山教授のプラチナ社会についてのセミナーの資料。

渡辺つとむプロフィール

昭和36年4月25日富津市千種新田生れ
県立木更津高校卒
立教大学経済学部卒(弁論部出身)
工学院大学専門学校建築科研究科卒
藤和不動産(株)財務部に勤務後
現在家業(有)渡辺サッシ代表取締役社長



富津市議会 議長
千葉県後期高齢者医療広域連合議員
君津富津広域下水道組合議会議長
君津郡市広域市町村圏事務組合副議長
富津市バドミントン協会会長
富津市国際交流協会副会長
富津市スポーツ推進委員